

社会福祉法人梓友会 法人本部 令和4年度 事業計画

目次	
法人の沿革	2
組 織 図	3
品質方針	4
令和4年度 社会福祉法人梓友会 経営基本方針	5
令和4年度 社会福祉法人梓友会 法人本部 サービス基本方針	6
令和4年度 社会福祉法人梓友会 法人本部 年間事業計画	7
令和4年度 人材開発室 基本方針	8
令和4年度 人材開発室 年間事業計画	9
令和4年度 人材開発室 数値目標	10

法人の沿革

昭和63年10月24日
平成元年 7月 1日

社会福祉法人梓友会
第1種社会福祉事業

設立認可

特別養護老人ホーム梓の里
定員 50名
創設
老人短期入所事業
定員 4名
創設

平成 7年11月24日

特別養護老人ホーム梓の里
定員 80名
増築
老人短期入所事業
定員 14名
増築

平成 7年12月 1日

第2種社会福祉事業

デイサービスセンター梓の里（B型）
定員 15名
創設

平成10年 3月 1日

第2種社会福祉事業

在宅介護支援センター梓の里
開設

平成10年10月 1日

第2種社会福祉事業

ホームヘルプサービス梓の里
開始
（在宅介護支援センター内）

平成11年 1月11日

ホームヘルパー養成講座（2級課程）県知事指定

平成11年12月28日

第1種社会福祉事業

特別養護老人ホームみなとの園
定員 50名
創設
短期入所 20名

平成12年 1月20日

第2種社会福祉事業

デイサービスセンターみなとの園
定員 15名
創設
在宅介護支援センターみなとの園
開設
ホームヘルプサービスみなとの園
開始

平成13年 4月16日

第2種社会福祉事業

デイサービスセンター太陽の里
定員 15名
開始

平成13年11月12日

第1種社会福祉事業

特別養護老人ホーム太陽の里
定員 30名
創設
短期入所 5名

平成17年 2月25日

第1種社会福祉事業

介護老人福祉施設みくらの里
定員 80名
創設
短期入所 20名

平成17年 2月25日

第2種社会福祉事業

デイサービスセンターみくらの里
定員 25名
創設

平成17年 3月 1日

在宅介護支援センターみくらの里
開設

平成24年 5月20日

第1種社会福祉事業

ホームヘルプサービスみくらの里
開始

老人短期入所事業太陽の里
定員 10名
増築

平成26年 4月 1日

第2種社会福祉事業

小規模多機能型居宅介護みくらの里
定員 24名
創設

第2種社会福祉事業

居宅介護支援事業所を統合、名称変更（梓の里、みなとの園は休止）

ケアプランセンターみくら
開設

平成29年 4月 1日

公益事業

企業主導型保育事業 みくら保育園
創設

平成30年 3月 5日

第1種社会福祉事業

介護老人福祉施設エクレシア南伊豆
定員 90名
創設
短期入所 10名

平成30年 3月 5日

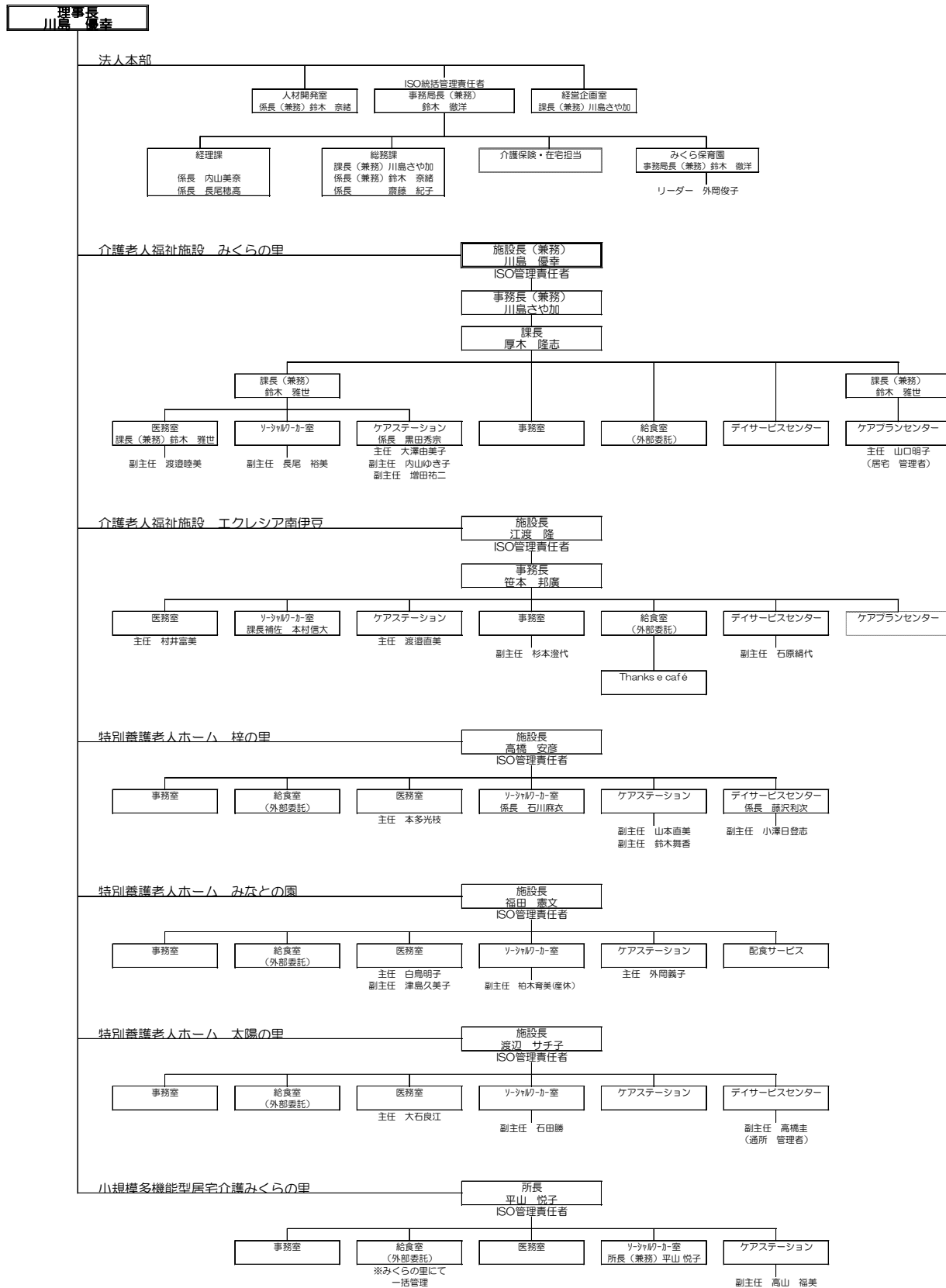
第2種社会福祉事業

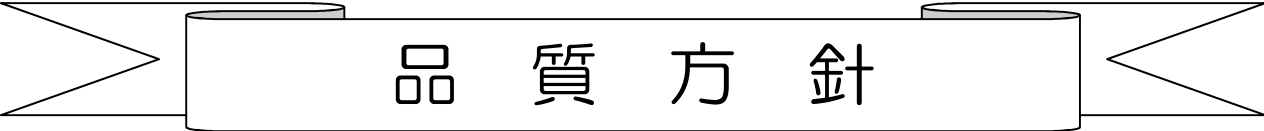
デイサービスセンターエクレシア南伊豆
定員 20名
創設

※現在は定員35名

法人本部

組織図





品質方針

下田市と賀茂地域に最高のケア、個人の選択権、
QOL（生活の質）を最大限にする総括的な
高齢者の福祉サービスを提供する

1. 選ばれる施設を目指して、顧客満足度の向上に努力する。
2. 自立支援をQOL（生活の質）を重視した、良質の介護サービスを提供する。
3. ノーマライゼーションの実現に向けて、地域福祉の増進に貢献する。

令和4年度 社会福祉法人梓友会 経営基本方針

1. 人材確保強化と職場環境の革新

2022年は、介護等の労働人口の動態をみても人口減少時代の境目の年とも言われています。持続可能な社会保障を維持していくうえで支え手をどう確保していくのが最も重要な課題となります。

ご利用者の尊厳を保持し各種サービスの充実を図るためには、適正な効率化と重点化を実施していかなければなりません。そのためには、より高い専門性の向上と多職種連携が必要不可欠です。

さて、当法人にとって介護人材の確保は喫緊の課題であり、この課題を解決するには、職員の処遇や職場環境の改善が重要な要素となります。従ってテクノロジーの活用やICT導入による業務負担の改善は、もはや優先的な経営課題であり、同時に文書負担の軽減も必須です。このような取り組みは、多様な働き方を可能とし、職員の働きやすさの向上にも繋がります。

採用方法についてもまた時代に合わせて多様化しており、法人の規模にマッチングした雇用の仕組みを再検討しなければなりません。

働き手の主体的なキャリア形成や専門性の高い働き方と成果に応じた処遇が得られるような仕組みを構築しなければならず、また実施に当たり人的リソースが制限された中、新たな価値創造のための連携を検討する必要もあります。特にリモートワークの導入など事務系については場所と時間に制約されない働き方を考えます。

また、人材確保策としては、情報発信の適正化による法人のブランド力強化も必要であることから、各施設におけるリーフレットを見直し、HPやSNS等の内容刷新を図り、地域の福祉教育の場においても魅力ある提案と啓発を実施していきます。あわせて、各部門の職場環境改善を推進するため、メンタルヘルスやハラスメント研修の充実を図り、職場革新の対応強化を実施します。

2. 法人経営強化と時代に即応した経営組織の確立

現在の社会福祉法人は、幾多の自然災害やコロナ禍を経験して、SDGs及び地域の社会課題解決への取り組みや地域貢献をmission(使命)とした経営が浸透しつつあります。社会福祉という使命を地域において果たし続けることが重要なのです。そのために様々な経営資源を最適に分配する仕組みを構築し維持することが必須となります。(地域貢献事業の連携など)

また、ここ数年推進してきた介護サービスの質の向上と科学的介護情報システムについては、自立支援・重度化防止を基本目的に置いた情報マネジメントを行い、施設におけるDX化の主要な一環としてLIFEの情報提供やその活用が可能となるよう、2年後を目途にPDCAにも対応した法人内システムの構築を加速します。

あわせて、当法人として将来の持続可能な経営・運営を担保していくため、今後の経営に対する影響を与える外部要因や内部要因の分析を行う新たな事業プロジェクトを立ち上げ、具体的に実施していきます。(中長期経営検討委員会の設置)

このような取り組みを行いつつ、社会福祉法人の公益性を堅持しつつ地域特性(人口減少・少子化等)に配慮した経営を図るため、収支実績の正確な把握と予算及び支出の適正管理を行います。加えて会計監査法人とも連携して経営改善を実施することでガバナンスを確保し、法人組織を強化します。

3. 地域共生社会実現とコンプライアンス経営の徹底

豊かな地域社会の形成には、地域の方々や多様な組織及び関係者に対し、福祉や介護への理解を深め参画する機会を増やす取り組みが重要です。近年、社会福祉法人は、地域協創を目指して地域共生社会への理解を広げ、地域の多様な生活課題に向き合い、すべての人々をその対象としてとらえていく必要性が増しています。

よって、法人の理念に基づいた経営の推進を図り、社会福祉関連法令を職員一人一人が遵守する公益性の高いコンプライアンスに配慮した経営を目指すため、諸規程の見直しを行い、マニュアル等も新しい時代に即応できるものに改善していきます。

また、介護保険法・老人福祉法・社会福祉士及び介護福祉士法等の社会福祉関係法令、地域における医療及び介護の総合的な確保の推進に関する法律や労働法・虐待防止法など各種法令について適切な理解を得るため、職員研修会や教育の機会をより充実させ、ご利用者の人権に配慮した経営・運営を推進します。

今や、社会福祉法人は、法人内の業務に留まらない地域にも通用する能力や経験的スキルをもつ多様な働き手を増やしていくことにより、地域社会全体における円滑な労働移動の実現に寄与することが期待されているのです。

社会福祉法人梓友会 法人本部
令和4年度 サービス基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
<p>1. 人材確保強化と職場環境の革新</p> <p>(1) 人材確保に向けた情報発信ツールの活用に向けた仕掛けづくり</p> <p>(2) 新たな外国人労働者の受け入れ</p> <p>(3) 人材確保のための賃金制度の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度にHP改修を実施した。新規入職者からも好評のため、就職ニーズのあるターゲットがHPを閲覧する仕掛けづくりを採用コンサルとともに進める。HP内採用ページの改変や、各種求人内容の見直し、また、人材紹介会社への情報発信。 ・令和元年に外国人技能実習生をミャンマーより3名受け入れた、今年度もミャンマーから同様に3名の受け入れを実施。また、技能実習生を受け入れることにより見本となる介護職員の接遇や技術の見直しの機会を与える。 ・新たな処遇改善制度としての「介護職員等ベースアップ等支援加算」を取得するとともに、賃金制度の見直しを図る。事業への貢献度の高い職員にメリットのある改定を図ることで職員の定着と採用活動に活かしたい。
<p>2. 法人経営強化と時代に即応した経営組織の確立</p> <p>(1) 各拠点施設の適正な数値目標管理</p> <p>(2) 法人マネジメントの徹底</p> <p>(3) 科学的介護情報システム（LIFE）の活用</p> <p>(4) 感染症等の有事に備えた事業継続計画（BCP）の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、各拠点施設の数値目標を明確化し、その目標値を毎月の施設長会議及び経営調整会議で進捗管理を徹底する。さらに、各施設・各事業の稼働率の安定化を目指し、財務規律強化に寄与する。 ・毎月の施設長会議・経営調整会議を通して、各拠点施設の実績管理及び評価・不適合管理を行う。あわせて、年2回（5月、10月）のマネジメントレビュー、内部監査によりISOを推進し、法人マネジメント徹底を図る。 ・令和3年12月に法人全施設に介護システムケアカルテが導入され、全施設がLIFEへの対応が可能となった。法人全施設において、科学的介護推進体制加算取得を進める。 ・令和6年4月までの経過措置終了時までには新型コロナウイルス感染症や自然災害発生時などの有事におけるBCPの策定を法人全体で推進する。
<p>3. 地域共生社会実現とコンプライアンス経営の徹底</p> <p>(1) 法令遵守に基づく諸規定の改定と研修会の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を皮切りに、改正が繰り返される労働関係法について、適正な労働環境を維持するため顧問社労士と連携しながら諸規定の改定や研修会を実施することで、マネジメント層職員の育成を図る。

社会福祉法人梓友会 法人本部
令和4年度 年間事業計画

行	事	内	容
令和4年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ受入【オンライン開始】 ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 ・【施設企画】施設内研修 		
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・新任職員フォローアップ研修Ⅰ ・法人オリエンテーション① ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 ・マネジメントレビュー ・【本部企画】施設内研修（延期分） 		
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 第1回理事会 ・令和4年度 第1回評議員会 ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 		
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ受入 ・介護職員実務者研修（通信講座開始） ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 		
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 第2回理事会 ・介護職員実務者研修（スクーリング） ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 		
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・法人オリエンテーション② ・介護職員実務者研修（スクーリング） ・【本部企画】施設内研修 ・合同説明会、法人説明会 ・マネジメントレビュー 		
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ISOサーベイランス審査 ・2年目職員研修 ・育成担当者研修 ・介護職員実務者研修（スクーリング） ・介護福祉士受験対策全国統一模擬試験実施 		
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 第3回理事会 ・【施設企画】施設内研修 ・次年度内定者フォローアップ研修 		
令和5年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査 		
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・法人オリエンテーション③ 		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 第4回理事会 ・【本部企画】施設内研修「合同発表会」 ・新卒内定者オリエンテーション 		

人材開発室 令和4年度 基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
<p>人材確保強化と職場環境の革新</p> <p>(1) 法人内及び地域の福祉力強化に向けた人材育成の充実化を図る。特に法人職員の介護福祉士資格取得に向けた支援を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年度に引き続き、ユマニテクキャリアアカデミーと協力し、介護職員実務者研修を開催することで、内外の介護人材の介護福祉士取得への支援を行う。
<p>(2) 将来を見据えた人材育成への取り組み (地域福祉教育への取組み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 持続可能な社会保障を維持していくうえで支え手をどう確保していくのが最も重要な課題である。賀茂圏域の人口減少は顕著であり、将来の人材確保のためにも教育等の中で、福祉・介護の正しい理解を進めることが必要である。よって、地域社会における福祉・介護の啓発活動として、地元の小中学校や高校での出張勉強会を開催する。 • あわせて、県・市社協主催の地域福祉教育にも積極的に協力（講師派遣）し、学生の頃から福祉に触れてもらう機会を多く持つことにより、共生社会や共助・（互）近助・自助についても理解を示すことができる次世代の子供達を育成する。
<p>(3) 職場環境改善の推進 (働きやすい職場作り)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 働きやすい職場作りの一環として、昨年のハラスメント研修に続き、今年度はメンタルヘルスについて考える機会を設ける。
<p>(4) 無資格者の認知症介護基礎研修受講実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 令和3年4月の介護報酬改定に伴い、無資格者への認知症介護基礎研修受講が義務付けられた。（3年の経過措置有り） • それに伴い、法人内介護職員や新規入職者の無資格者を対象に「認知症介護基礎研修」受講へ向けた情報提供や仕組み作りを行う。 • （R3.2 より静岡県でも開始された e-ラーニングや毎年開催される外部資格団体等の研修会を利用した受講等）

人材開発室
令和4年度 年間事業計画

	行 事 内 容
令和4年 4月	
5月	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉のお仕事魅力発見セミナー
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修（通信開始）
8月	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修（スクーリング開始） ・福祉のお仕事魅力発見セミナー
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修（スクーリング） ・出張勉強会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修（スクーリング） ・介護福祉士受験対策講座（全国統一模擬試験実施）
12月	
令和5年 1月	
2月	
3月	

人材開発室
令和4年度 数値目標

開催内容	目標値	内 容
介護職員実務者研修 (通信講座)	18名	ユマニテクキャリアアカデミーと連携し、介護職員実務者研修の通信講座を実施し、賀茂地域における介護福祉士の養成に寄与する。
介護福祉士受験対策講座 (団体模試)	4名	本番を再現した模擬試験や試験情報の発信、受講者のモチベーションアップと合格率の向上を目指す。

社会福祉法人梓友会 企業主導型保育事業 みくら保育園 令和4年度 事業計画

●企業主導型保育事業 みくら保育園

目次	
施設の概要	2
令和4年度 企業主導型保育事業 みくら保育園 サービス基本方針	3
令和4年度 企業主導型保育事業 みくら保育園 年間行事計画	4
令和4年度 企業主導型保育事業 みくら保育園 数値目標	5

施 設 の 概 要

施設の名称	企業主導型保育事業 みくら保育園
所在地	静岡県下田市吉佐美1077番地16
設置主体	社会福祉法人梓友会
理事長	川島 優 幸
責任者	鈴木 徹 洋
沿革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可
開設	平成29年 4月 1日 企業主導型保育事業 みくら保育園
事業定員	定員 19名
敷地面積	1,990.32 m ² (小規模多機能型居宅介護を含む)
建築面積	企業主導型保育事業 みくら保育園 木造平屋建 117.6m ²

企業主導型保育事業 みくら保育園
令和4年度 サービス基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
1.人材確保強化と職場環境の革新	<ul style="list-style-type: none"> • 育休中の職員の職場復帰ニーズに対応し、職員が安心して従前の仕事に復帰できる環境づくりを行う。 • みくら保育園の特徴である「“こころ”と“からだ”と“あたま”を育てる」を発展させるための取り組みを実施する。園庭整備と「ミッケルアート」の更なる活用を進め、知育への取り組みを推進する。 • 児童育成協会主催のアレルギー対策及び感染症予防対策等の研修会を年2回受講し、保育士の資質向上に努め、よって保育の質の向上に質する。
2.法人経営強化と時代に即応した経営組織の確立	<ul style="list-style-type: none"> • 職員のお子さんを対象にした職員枠と地域の保育ニーズに対応する地域枠をバランスよく組み合わせ、保育事業単体として適切な収支バランスを取り、財務力強化に努める。 具体的には、地域との連携を深化させ、財務強化を図るため、引き続き、連携推進加算の取得に取り組む。
3.地域共生社会実現とコンプライアンス経営の徹底	<ul style="list-style-type: none"> • 各種のマニュアルに基づき、適切な対応を行うことにより関係法令の遵守や事故防止に努める。前年度に引き続き、「感染症対応マニュアル」については、新型コロナウイルスをはじめとした様々な感染症リスクに対応出来るよう、必要な見直しを行う。 • 園内事故の予防対策として、ヒヤリハット事例を収集し全職員で確認・検討を実施する。そのことにより、危険地帯や危険な時間等の認識を共有し、安全・安心な保育サービスを提供する。

企業主導型保育事業 みくら保育園
令和4年度 年間行事計画

	みくら保育園（行事）	地域の行事
令和4年 4月	大賀茂れんげ祭り見学 こいのぼり見学	大賀茂れんげ祭り
5月	内科検診	小学校運動会
6月	歯科検診 交通安全教室	田植え
7月	七夕会 水遊び開始	
8月	水遊び（小規模交流） すいか割り	下田太鼓祭り
9月	敬老会（小規模交流）	大賀茂フェスティバル
10月	ハロウィンパーティー	稲刈り
11月	園外保育 イルミネーション見学	イルミネーション点灯式 消防団パレード
12月	小学校マラソン大会 クリスマス会	小学校マラソン大会
令和5年 1月	凧揚げ 交通安全教室 どんど焼き見学	どんど焼き
2月	節分 下高マラソン大会応援	下高マラソン大会
3月	ひな祭り会 お別れ遠足 お別れ会	桜祭り

※毎月1回避難訓練・発育測定・誕生会（誕生児のいる月）

企業主導型保育事業 みくら保育園
令和4年度 数値目標

部 門	目 標 値	内 容
みくら保育園	契約者数 16 名以上 [0～1 歳児 11 名以上] [2～5 歳児 5 名以上]	<p>職員採用及び定着に寄与出来るよう、保育園の活用を促進する。</p> <p>また、引き続き、地域枠の受け入れも積極的に行い、みくら保育園の魅力を地域に伝えると共に、地域の保育ニーズに対応していく。</p>

社会福祉法人梓友会 特別養護老人ホーム梓の里 令和4年度 事業計画

- 指定介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム梓の里
- 指定短期入所生活介護事業 老人短期入所梓の里
- 指定通所介護事業 デイサービスセンター梓の里

目次	
施設の概要	2
令和4年度 特別養護老人ホーム梓の里 施設サービス基本方針	3
令和4年度 特別養護老人ホーム梓の里 年間行事計画	4
令和4年度 特別養護老人ホーム梓の里 数値目標	5

施設の概要

施設の名称	特別養護老人ホーム梓の里		
所在地	静岡県下田市加増野181番地1		
設置主体	社会福祉法人梓友会		
理事長	川島 優 幸		
施設長	高橋 安 彦		
沿革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可		
開設	平成 元年 7月 1日	介護老人福祉施設梓の里	
		老人短期入所梓の里	
	平成 7年12月 1日	デイサービスセンター梓の里	
	平成10年 3月 1日	在宅介護支援センター梓の里	(休止)
	平成11年 1月11日	ホームヘルプサービス梓の里	(休止)
各事業定員	特別養護老人ホーム	80名	
	老人短期入所(ショートステイ)	14名	
	デイサービスセンター	1日30名	
敷地面積	3,306.23 m ²		
建築面積	特別養護老人ホーム		
	鉄筋コンクリート及び鉄骨3階建	3,115.55m ²	
	デイサービスセンター		
	鉄筋コンクリート造	336.66m ²	
	在宅介護支援センター		
	鉄筋コンクリート造	96.9 m ²	
	合 計	3,549.12m ²	

介護保険法指定事業及び指定日・事業所番号

指定介護老人福祉施設(介護老人福祉施設梓の里)

平成12年 4月 1日 2270200047

指定短期入所生活介護事業所(老人短期入所梓の里)

平成12年 3月 1日 2270200047

指定通所介護事業所(デイサービスセンター梓の里)

平成12年 3月 1日 2270200047

特別養護老人ホーム梓の里

令和4年度 施設サービス基本方針

運営目標	目標実現のための具体的方法
1.人材確保強化と職場環境の革新	<ul style="list-style-type: none"> • 情報発信の適正化と法人ブランド力強化の必要性から施設のリーフレットを見直し、作成する。また、ホームページや SNS 等の内容を刷新する取組に積極的に協力する。 • ご利用者の尊厳を保持し、サービスの充実を図るためには、より高い専門性の向上と多職種連携が必要不可欠ことから、組織の人間関係・信頼関係をより良いものにすることにより、チームの力を強化する。 • 職員の働く環境に柔軟に対応していくため、事務系職種へのリモートワーク導入について検討する。
2 法人経営強化と時代に即応した経営組織の確立	<ul style="list-style-type: none"> • 国が推進する科学的介護システム（LIFE）に登録し、データの提出とフィードバックの活用による PDCA サイクルを推進することにより介護サービスの質の向上を図る。同時に科学的介護推進体制加算の算定と褥瘡マネジメント加算の取得も行い、公益性を堅持するとともに収支実績の適正管理も行う。 • 社会課題解決の取組の一環として高齢者介護を担う施設での良い介護を実践するため、厚生労働省補助事業「介護のしごとと魅力発信等事業【介護技能向上促進事業】」を参考に「介護とは、自然の治癒家庭が促進され、生命力の消耗を最小にするように生活を整えていく実践である。」ということを再認識し、利用者本位、その人らしい暮らしの理解と同時に、人間の心と身体の仕組みを理解するための職員教育を行う。
3.地域共生社会実現とコアライアンス経営の徹底	<ul style="list-style-type: none"> • 土砂災害が想定される要配慮者利用施設として下田市地域防災計画に定められたことを受けて、避難確保計画を作成し、避難訓練の実施も行う。 • 当施設は、下田市の災害避難所指定を受託しており、近隣住民の生活課題に向き合い避難所強化に取り組んできました。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により感染症に対応した避難所への転換が今後の課題であり、昨年度に引き続き下田市防災課、地元住民との連携により継続的に対応していく。 • 道路交通法施行規則の一部改正により、公用自動車の運転者の運転前後のアルコールチェックが義務化されることに伴い施設・事業所の取り組みを強化する。

特別養護老人ホーム梓の里 令和4年度 年間行事計画

令和4 年度	介護老人福祉施設 ショートステイ	デイサービス	給食室
4月	お花見（全体） 車窓より松崎桜並木鑑賞	お汁粉	昭和の日
5月	八十八夜会（全体） 美味しいお茶と和菓子	施設周辺散歩	端午の節句（柏饅頭） 母の日 八十八夜（練切）
6月	紫陽花見学（全体） 車窓より松崎紫陽花鑑賞	映画鑑賞	父の日 デザートバイキング
7月	流しそうめん（全体）	読み聞かせ	開設記念弁当 七夕 土用の丑（うなぎ）
8月	かき氷会（ユニット）	下田祭り鑑賞 かき氷会	終戦記念日
9月	敬老会、敬老月間（全体）	敬老週間	敬老の日弁当 重陽の節句（栗） 十五夜（里芋） 敬老月間（デザートバイキング） お彼岸（おはぎ）
10月	秋のミニ運動会（ユニット） 玉入れ・パン食い・綱引き	秋の施設周辺散歩	十三夜（豆、栗） 運動会弁当 ハロウィン（南瓜）
11月	バザー店（全体）	バザー店	デザートバイキング
12月	クリスマス（ユニット） もみの木の飾り作り	サンタクロース作り	冬至（南瓜） クリスマス 大晦日（年越し蕎麦）
1月	お正月会（ユニット） 書初め・福笑い・かるた	書初め・下田かるた	お正月（おせち） 七草・小正月（粥） 鏡開き（汁粉）
2月	節分（ユニット） 豆まき	映画鑑賞	鍋を囲む会 節分
3月	ひな祭り（ユニット）	お汁粉	ひな祭り お彼岸（ぼたもち）

その他

《特養》・

《デイ》・毎月の買い物支援及び散髪

《栄養》・

特別養護老人ホーム梓の里

令和4年度 数値目標

部 門	目標値	内 容						
特別養護老人ホーム／短期入所	3ユニット運営	<ul style="list-style-type: none"> ・3ユニット運営の安定稼働を図る。 ・1ユニット夜勤職員6名の配置を前提に、管理床数26を目途とした運営を行う。 						
		ユニット	1	2	3	計	稼働	目標値
		特養	24	24	22	70	95%	67床
		短期	0	2	4	6	92%	5床
		計	24	26	26	76	95%	72床
<ul style="list-style-type: none"> ・併せて、夜勤勤務可能な常勤介護職6名の追加採用が可能となった時点で、一時閉鎖中のユニット再開を目指す。 								
デイサービス	稼働率68.6% (1日当たり25名) 1ヵ月延べ平均 500名以上	<ul style="list-style-type: none"> ・特に近隣ご利用者の利用ニーズを主眼に置いて、一日当たり25名の利用を目途に調整を図っていく。 (デイルーム床面積113㎡における適正人数を勘案する。) 						

社会福祉法人梓友会 特別養護老人ホームみなとの園 令和4年度 事業計画

- 指定介護老人福祉施設 特別養護老人ホームみなとの園
- 指定短期入所生活介護事業 老人短期入所みなとの園
- 南伊豆町委託事業 配食サービスみなとの園

目次	
施設の概要	2
令和4年度 特別養護老人ホームみなとの園 施設サービス基本方針	3.4
令和4年度 特別養護老人ホームみなとの園 年間行事計画	5
令和4年度 特別養護老人ホームみなとの園 数値目標	6

特別養護老人ホームみなとの園
令和4年度 施設サービス基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
<p>1. 人材確保強化と職場環境の革新 (1) 人材確保強化と労働環境改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職員が働きやすく魅力ある職場づくりを実現する。一部介護職員は月間7回以上の夜勤が常態化しており、夜勤業務ができる職員の育成を急務として取り組む。また、職員の定着率向上のために、介護業務を安全かつ簡素化・効率化を図り、事務業務はリモートワークを取り入れ、長時間勤務の改善に努め、職員の負担軽減を図る。
<p>(2) ICT 機器の更なる活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に導入した介護記録システム「ケアカルテ」、移乗補助ロボット「Hug」、装着型ロボットスーツ「HAL」の定着活用に向けて研修、効果検証委員会を開催し、より有用化できるようにする。ICT 機器やロボット技術を更に活用し、ペーパーレス化の推進により職員の文書負担を軽減し、介護者・利用者共に身体負担の少ない介護サービスを実現する。
<p>2. 法人経営強化と時代に即応した経営組織の確立 (1) 老朽化設備更新と経費削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域における社会福祉の使命を継続するために、老朽化したインフラの更新を計画的に実施する。ご利用者の安全に係る設備更新を最優先とし、電動ベッド、冷暖房等を計画的に更新する。 物価上昇に伴い経費上昇が予測できるので、予算管理と更なる経費節減の取組みを実行し、職員会議で報告し、職員に周知を図る。
<p>(2) 介護報酬加算取得の定期的な見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設を安定稼働させるために、ベッドの適正管理、取得している介護報酬加算を定期的に見直し、介護報酬加算を安定取得できることを目指す。今後の介護報酬改定では、科学的介護情報システムへの比重が増加されると思われるので、現状では人員基準で取得が難しい加算も、人員基準を満たせば直ぐに取得できる準備を行う。
<p>3. 地域共生社会実現とコンプライアンス経営の徹底 (1) 社会貢献・地域貢献活動の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本年度も地域貢献活動として「認知症カフェ（南伊豆町実施事業）」の運営を施設1階の通所介護のスペースを活用し、年12回開催を目標とする。 コロナ感染症終了後を見据えて、コロナ禍で中止となっていた交流活動が再開できる準備を行い、地域資源としての役割を果たす。地域の社会資源と連携を図り、昨年好評だった南伊豆分校の農作物を積極的に利活用し、更なる連携強化する。 本年度も配食事業を通じ、自治体が推進する地域での見守り体制強化に協力する。南伊豆町高齢者サービス利用審査会や個別地域ケア会議等に参加し、多様な組織や関係者と情報共有を行い、地域共生社会の実現に尽力する。

<p>(2) 法令順守</p>	<ul style="list-style-type: none">• 介護保険法、老人福祉法、社会福祉法、介護福祉士法等の社会福祉関係法令、労働法、虐待防止法などの各種法令を職員が正しく理解できるように、虐待防止、ハラスメント等の研修を行う。また、各種委員会、会議等で解りやすく説明し、職員の法令順守に対する意識向上に努める。• 消防法、建築物衛生法、電気事業法等の施設設備の維持管理に係る法令を遵守する為に、老朽化が進んでいる高圧受電設備等の改修を計画的に行う。
-----------------	--

特別養護老人ホームみなとの園

令和4年度 年間行事計画

特 養・ショート	地 域	栄養室関係
令和 4年 4月 おにぎりバイキング	(仮)認知症カフェ (カフェみなと)	ソフト食の日 おやつ作り
5月 南伊豆町内ドライブ	カフェみなと	子供の日 母の日 ソフト食の日 おやつ作り
6月 あじさい祭り見学	カフェみなと	父の日 ソフト食の日 おやつ作り
7月 ビアガーデン(居酒屋)	カフェみなと	七夕 ソフト食の日 おやつ作り
8月 弓ヶ浜花火大会見学 ハローボランティア受入 かき氷会	カフェみなと	土用の丑の日 ソフト食の日 おやつ作り
9月 敬老会(表彰式) 9/17予定	カフェみなと	敬老の日 ソフト食の日 おやつ作り
10月 フェスタ南伊豆見学 小学校・こども園交流	カフェみなと フェスタ南伊豆	秋の運動会おにぎりランチ ソフト食の日 おやつ作り
11月 湊区祭り見学 11/1(木) 寿司祭り 総合防災訓練	カフェみなと	南伊豆太鼓祭り 寿司バイキング ソフト食の日 おやつ作り
12月 クリスマスパーティー (ケーキ作り、ゲーム大会)	カフェみなと	クリスマスランチ ソフト食の日 おやつ作り
令和 5年 1月 鍋パーティー(707毎)	カフェみなと	おせち料理 ソフト食の日 おやつ作り
2月 節分会(707毎) 肉(2/9)の日	カフェみなと	節分 ソフト食の日 おやつ作り
3月 雛祭り(707毎) 寿司バイキング	カフェみなと	ひな祭り ソフト食の日 おやつ作り

特別養護老人ホームみなとの園
令和4年度 数値目標

部 門	目標値	内 容
特別養護老人ホーム	稼働率 98.5% (月平均空床数 23 床以内) 認知症自立度Ⅲ 65%以上または 介護度 4・5 70%以上	特養の稼働率は 98.5%を維持できるように入退所手続を迅速に行い、空きベッドを作らないように努力する。 優先入所の指針に従い、認知症自立度Ⅲ以上の割合 65%以上、または介護度 4・5 の割合 70%を維持し、日常生活継続加算の算定要件に準拠した利用者獲得をする。
短期入所	稼働率 90.0% (月平均空床数 60 床以内)	特養の空きベッドを転床するなどして、稼働率 90.0%以上を目標とする。

社会福祉法人梓友会 特別養護老人ホーム太陽の里 令和4年度 事業計画

- 指定介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム太陽の里
- 指定短期入所生活介護事業 老人短期入所太陽の里
- 指定通所介護事業 デイサービスセンター太陽の里

目次	
施設の概要	2
令和4年度 特別養護老人ホーム太陽の里 施設サービス基本方針	3～4
令和4年度 特別養護老人ホーム太陽の里 年間行事計画	5
令和4年度 特別養護老人ホーム太陽の里 数値目標	6

施 設 の 概 要

施設の名称	特別養護老人ホーム太陽の里		
所在地	静岡県賀茂郡西伊豆町仁科 1134 番地（特養およびショートステイ） 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科 393 番地 西伊豆町福祉センター内（デイ）		
設置主体	社会福祉法人梓友会		
理事長	川 島 優 幸		
施設長	渡 辺 サチ子		
沿革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可		
開設	平成13年11月12日 特別養護老人ホーム太陽の里 老人短期入所太陽の里 平成13年 4月16日 デイサービスセンター太陽の里		
各事業定員	特別養護老人ホーム	30名	
	老人短期入所（ショートステイ）	10名	
	デイサービスセンター	1日	30名
敷地面積	2,473.30 m ²		
建築面積	特別養護老人ホーム		
	鉄筋コンクリート2階建	1,649.72m ²	
	デイサービスセンター		
	鉄骨造2階建（西伊豆町より福祉センターを一部貸与）		
介護保険法指定事業及び指定日・事業所番号	平成13年11月12日 指定介護老人福祉施設[2270100247] （特別養護老人ホーム 太陽の里） 平成13年11月12日 指定短期入所生活介護事業所[2270100247] （老人短期入所 太陽の里） 平成13年4月15日 指定通所介護事業所[2270100213] （デイサービスセンター 太陽の里）		

特別養護老人ホーム太陽の里
令和4年度 施設サービス基本方針

運営目標	目標実現のための具体的方法
<p>1. 人材確保強化と職場環境の革新</p> <p>(1) 職場環境の改善の取り組みにて職員の働きやすさの向上につなげる</p> <p>(2) 人材確保の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ケアの質向上を意識する中で介助量そのものを減らす新しい介護のあり方のためにテクノロジーの活用について知識を高めるとともに改善に向け検討委員会を設置する。 • ICT導入について知識を高めるとともに業務負担の改善に向け検討委員会を設置する。 • メンタルヘルス、悩みなどの軽減や緩和のため、定期的または随時の面接を実施していく。 • ハラスメントを生まない職場環境づくりのため、ハラスメント防止研修（年2回）へ参加し基本的な知識を学ぶ。 • 太陽の里のリーフレットを特養・短期・通所それぞれに見直し魅力あふれる太陽の里をアピールする。 • 学校や各種団体からの要望及び介護に関する教育の要望がある時は職場体験学習、実習生等をコロナウィルス感染症の動向をみる中で受け入れ介護の魅力を伝える。
<p>2. 法人経営強化と時代に即応した経営組織の確立</p> <p>(1) 社会福祉という使命を地域において果たし続ける</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地域貢献事業を西伊豆町やボランティア団体及び地域住民と積極的に連携する • 大規模災害発生が懸念される状況下では地域住民の安全のために西伊豆町と連携する。 • 大規模災害発生を想定する中で地域と連携し策定が済んだ事業継続計画(BCP)の見直しを随時行う。 • コロナウィルス感染症を施設に持ち込む事がないように感染状況の情報収集と提供を行うとともに、特に短期、通所のご家族状況の把握を行う。また、職員の感染予防の意識が低下しないように随時発信していく。 • 中重度のご利用者が増えている中で「自立支援」が求められていることから、短期、通所のご利用者に対しては、楽しみながら効果的に運動できるサービスを提供する。

特別養護老人ホーム太陽の里
令和4年度 年間行事計画

	特養	ショート	特養（給食）	デイサービス
R4年 4月	ご利用者要望行事	こいのぼり 作り	お花見献立&おやつ	町内ドライブ（西伊豆・松崎町）
5月	スイーツ バイキング		端午の節句&おやつ	端午の節句 母の日
6月	ご利用者要望行事	七夕かざり 作り	とくてん付き（短期）	父の日
7月	七夕		七夕献立&おやつ	七夕
8月	かき氷会		スタミナ献立	暑気払い 終戦記念日 （スイカ割）
9月	敬老会	敬老会	敬老会献立&おやつ	敬老会 （祝い膳）
10月	ご利用者要望行事		体育の日献立&おやつ	運動会
11月	焼き芋会	焼き芋会	勤労感謝の日 献立&おやつ	文化展
12月	クリスマス会	絵馬作り	クリスマス献立&おやつ	クリスマス 冬至 忘年会
R5年 1年	ご利用者要望行事		おせち料理献立&おやつ 鍋献立（特養）	新年会 書初め （七草粥）
2月	節分会	ひな人形 作り	節分献立&おやつ 鍋献立（短期）	節分 バレンタインデー
3月	ひなまつり		ひな祭り献立&おやつ	ひなまつり （甘酒）

年間を通した取組み

- （特養）
- ・毎月実施行事：誕生日会
 - ・ご利用者の楽しみでもある食事を通して五感で四季を感じられる行事を行い、生活意欲の向上を図る
- （特養給食）
- ・毎月実施献立：リクエスト献立（おまかせ献立、郷土献立/今日は何の日）
 - ・おやつ作り：特養（毎月1～2回）
短期（毎月1～2回）
- （通所）
- ・毎月実施行事：誕生日会（毎月第3金曜日）
 - ・生活・意欲の向上の活動（買い物ツアー）

特別養護老人ホーム太陽の里
令和4年度 数値目標

部 門	目標値	内 容
特別養護老人ホーム	稼働率 100%	稼働率 100%を維持できるように入退所手続を迅速に行い、空きベッドを作らないように努力するとともに、優先入所指針に従う。 認知症自立度Ⅲ以上の割合 65%以上、または、介護度 4・5 の割合 70%以上を維持し、日常生活継続加算の算定要件に準拠した利用者獲得をする。
短期入所	稼働率 100%	緊急利用ニーズに対応をする。また、特養の空きベッドを転床するなどして、稼働率 100%以上を目標とする。
デイサービス	稼働率 76% (1日当たり 23.0名) 1ヶ月延べ 490名以上	一日平均 23.0名以上を目標とし、60名以上の登録者数を目指す。 松崎町へ営業範囲の拡大をする事で利用者を獲得する。

社会福祉法人梓友会 介護老人福祉施設みくらの里 令和4年度 事業計画

- 指定介護老人福祉施設 介護老人福祉施設みくらの里
- 指定短期入所生活介護事業 老人短期入所みくらの里
- 指定通所介護事業 デイサービスセンターみくらの里
- 指定居宅介護支援事業 ケアプランセンターみくら

目次	
施設の概要	2
令和4年度 介護老人福祉施設みくらの里 施設サービス基本方針	3
令和4年度 介護老人福祉施設みくらの里 年間行事計画	4
令和4年度 介護老人福祉施設みくらの里 数値目標	5

施設の概要

施設の名称	介護老人福祉施設みくらの里
所在地	静岡県下田市吉佐美1086番地
設置主体	社会福祉法人梓友会
理事長	川島優幸
施設長	川島優幸
沿革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可
開設	平成17年 2月25日 介護老人福祉施設みくらの里 老人短期入所みくらの里 平成17年 2月25日 デイサービスセンターみくらの里 平成26年 4月 1日 ケアプランセンターみくら
各事業定員	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 80名 老人短期入所（ショートステイ） 20名 デイサービスセンター 1日30名 在居宅介護支援事業所
敷地面積	15,027.19 m ²
建築面積	特別養護老人ホーム（老人短期入所、ホームヘルプサービスおよび地域交流入所を含む） 鉄筋コンクリート3階建 5,456.12m ² デイサービスセンター 鉄筋コンクリート造 404.54m ² 在宅介護支援センター 鉄筋コンクリート造 97.10m ² 合 計 5,957.76m ²

介護保険法指定事業及び指定日・事業所番号

指定介護老人福祉施設（介護老人福祉施設みくらの里）
平成17年 2月25日 2270200179
指定短期入所生活介護事業所（老人短期入所みくらの里）
平成17年 2月25日 2270200179
指定通所介護事業所（デイサービスセンターみくらの里）
平成17年 2月25日 2270200179
指定居宅介護支援事業所（ケアプランセンターみくらの里）
平成17年 2月25日 2270200179

介護老人福祉施設みくらの里

令和4年度 施設サービス基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
1. 人材確保強化と職場環境の革新 (1) 新入職員の定着化 (2) 介護機器管理の一元化 (3) IT技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> • 新入職員のフォローアップ充実。入職初日、1週間目、1ヶ月目には面談を行い、現状を把握し改善に努める。OJT制度の充実を図り現場でのコミュニケーションを綿密にし、円滑化することで退職リスクを減少させる。年間退職率10%未満を目標とする。 • ベッド、マット、センサー等の介護機器について情報の集約を一元化することにより、介護職員の介護以外にかかる業務負担の軽減を図るとともに、情報の正確な把握をすることで、介護業務についても効率化が見込まれる。 • HP、SNS（インスタグラム）を活用し、施設内の状況を公に遅滞なく発信する。（年12回）また、眠りスキャン等IT機器のさらなる充実を図り、年間を通してデータを蓄積し、介護職員の負担感軽減を検討する。
2. 法人経営強化と時代に即応した経営の確立 (1) 設備刷新 (2) 公正な人事管理 (3) 継続可能な運営体制整備 (4) 認知症ケアの充実	<ul style="list-style-type: none"> • 将来的整備計画の策定と適正な修繕費の執行を検討し、老朽化した設備を刷新することで修繕費を削減できる。 • 働き方改革に準ずる職場環境の提供を目指し、公休、有休についてバランス良く取得できる体制作りを行う。また、ハラスメント等コンプライアンスに関し職員に周知し、迅速厳正な対応ができる仕組みを作る。 • 各部門代表者を集めたBCP策定委員会を設置する。想定する緊急事態とは「新型コロナウイルス罹患者の発生」「台風や地震等の自然災害」等であり、今年度は策定をとりまとめ草案を作成する。 • 認知症の軽度～重度の方と幅広いご利用者に対応できる回想療法の一つである『ミッケルアート』を特養・短期へ導入し、認知症の予防から進行抑制を図るとともに、新人職員への高齢者とのコミュニケーション力育成に活用する。
3. 地域共生社会実現とコンプライアンス経営の徹底	<ul style="list-style-type: none"> • コロナ禍により様々な福祉課題が表出し、地域における公益的取り組みの充実を図る。特に孤立対策として下田市の移動支援の担い手である当施設は、地域の日常生活における移動困難者を支援していく。移動支援実証実験を行い、実現に向け体制づくりをしていく。

介護老人福祉施設みくらの里
令和4年度 年間行事計画

	特 養・ショート	デイサービス	居宅介護支援
令和4年 4月	桜花見（下田） 大賀茂れんげ祭り	春の散策	
5月	端午の節句	こいのぼり会 バイキング	こいのぼり会（地域貢献） 下田市介護支援専門員連絡会
6月	下田公園紫陽花見学	下田公園紫陽花見学	南伊豆町介護支援専門員連絡会
7月	かき氷会	七夕会	下田市介護支援専門員連絡会 介護者交流会 ①
8月	夕涼み会 すいか割り	すいか割り 納涼祭	南伊豆町介護支援専門員連絡会
9月	敬老会	敬老会	
10月	お月見会	大運動会	
11月	寿司バイキング 焼き芋会	介護者交流会	南伊豆町介護支援専門員会 介護者交流会 ②
12月	クリスマス会 餅つき大会	クリスマス会	下田市介護支援専門員連絡会
令和5年 1月	新年会	書初め お正月遊び	
2月	節分 開設記念日祝（2/25）	節分会	南伊豆町介護支援専門員連絡会 介護者交流会 ③
3月	ひな祭り会 物故者慰霊祭 みなみの桜まつり見学	ひな祭り会 みなみの桜まつり見学	下田市介護支援専門員連絡会

その他、各ユニットにおいては、下記のような内容を日常生活の中に取り入れ、随時実施していく。

（誕生会、買い物等の外出、おやつ作り、その他ユニット単位の行事）

※昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、イベントの変更が生じる場合あり。

介護老人福祉施設みくらの里
令和4年度 数値目標

部 門	目 標 値	内 容
特別養護老人ホーム	稼働率 98.5% (月平均空床数 37 床以内) 認知症自立度Ⅲ 65%以上	特養の稼働率は 98.5%を維持できるように入退所手続を迅速に行い、空きベッドを作らないように努力するとともに優先入所の指針に従い、認知症自立度Ⅲ以上の割合 65%以上を維持する。
短期入所	稼働率 95.0% (月平均空床数 31 床以内)	特養の空きベッドを転床するなどして、稼働率 95.0%以上を目標とする。
デイサービス	稼働率 81.7% (1 日当たり 24 名) 1 ヶ月延べ 500 名以上	1 日当たり 24 名以上(1 ヶ月平均 500 名/月以上)の利用者を目標とするとともに要介護度 3 以上の利用者増加を目指す。
居宅部門(ケアマネ)	ケアプラン 122 件以上 (ケアマネ 1 人当たり 30 件以上)	年間平均で 122 件/月以上を目指すとともに業務省力化と経費の適正支出に努める。 また、年度内に主任ケアマネージャーの資格取得者を 1 名増やす。

社会福祉法人梓友会 介護老人福祉施設エクレシア南伊豆 令和4年度 事業計画

- 指定介護老人福祉施設 介護老人福祉施設エクレシア南伊豆
- 指定短期入所生活介護事業 老人短期入所エクレシア南伊豆
- 指定通所介護事業 デイサービスセンターエクレシア南伊豆

目次		
施設の概要		2
令和4年度	介護老人福祉施設エクレシア南伊豆 施設サービス基本方針	3
令和4年度	介護老人福祉施設エクレシア南伊豆 年間行事計画	4
令和4年度	介護老人福祉施設エクレシア南伊豆 数値目標	5

施 設 の 概 要

施設の名称	介護老人福祉施設エクレシア南伊豆		
所在地	静岡県賀茂郡南伊豆町加納 792 番地		
設置主体	社会福祉法人梓友会		
理事長	川 島 優 幸		
施設長	江 渡 隆		
沿革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可		
開設	平成30年3月5日	介護老人福祉施設エクレシア南伊豆 老人短期入所エクレシア南伊豆 デイサービスセンターエクレシア南伊豆	
各事業定員	特別養護老人ホーム	90名	
	老人短期入所（ショートステイ）	10名	
	デイサービスセンター	1日	35名
敷地面積	6619.64 m ²		
建築面積	木造一部鉄筋コンクリート造・鉄骨造 地上3階建 5968.06 m ²		
介護保険法指定事業及び指定日・事業所番号	平成30年3月5日・2270100825		

**介護老人福祉施設エクレシア南伊豆
令和4年度 施設サービス基本方針**

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
<p>1. 人材の確保強化と職場環境の革新</p> <p>(1) ICT、業務省力化による業務・職場環境の改善</p> <p>(2) 情報発信ツールの有効活用</p> <p>(3) 地域（賀茂地域や杉並区）との連携の深化</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 介護現場における業務改善を進め、職員の負担軽減や職場定着を促進させる。具体的には ICT 機器を活用した業務改善PJの実施、移乗リフト等の機器活用の検討を行う。 • 法人 HP と共に施設独自の SNS 等を活用し、タイムリーな情報提供を行うことにより、施設の魅力を発信していく。 • 開設 5 年目となり、それぞれの地域との更なる連携を推進するための取組みを実施していく。賀茂地域では地元教育機関や保育園、社協と連携した事業を実施する。また、杉並区においてはコロナ禍の状況を踏まえつつ、各種イベント参加やオンラインを活用した交流事業を行う。
<p>2. 法人組織強化と時代に即応した経営の確立</p> <p>(1) 科学的介護の推進</p> <p>(2) 感染症対策と業務継続に向けた取組みの強化</p> <p>(3) 杉並区からの入居者に対する積極的なアプローチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • L I F E のフィードバックデータを活用し、科学的裏付けに基づく介護を実践するために、データ活用のための情報収集や研修に参加し、更なるケアの質の向上に向けた取組みを行う。 • 感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービス等が安定的・継続的に提供できる体制を整える。そのために、現在の計画を基に研修、訓練を実施する。 • 杉並区からの入居者を確保する（40 名以上）ために、様々な取組みを行う。具体的には、区内での入居相談会の開催、杉並区内の居宅事業者や医療機関への営業活動等を実施する。
<p>3. 地域共生社会実現とコンプライアンス経営の徹底</p> <p>(1) 関係法令遵守への対応</p> <p>(2) 地域課題解決に向けた行政との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 社会福祉の関係法令のみならず、労働関係法令などの改正にあわせて、適時必要な対応を行い、コンプライアンスへの対応を実施する。 • 南伊豆町や杉並区および、各地区社協と共に地域の課題解決に向けた取組みを行うため、ニーズの把握に努める。具体的には、昨年度に引き続き、高齢者の移動支援や居宅ケアマネとの連携などを模索していく。

介護老人福祉施設エクレシア南伊豆
令和4年度 年間行事計画

	特 養・ショート	デイサービス	栄養室関係
令和4年 4月	春の散歩 お花見	昼食イベント (春野菜のてんぷら) 漬物提供週間	お花見献立 (カニちらし寿司)
5月	デリバリーイベント	中華昼食イベント (カニ玉&サラダ)	こどもの日・母の日
6月	駄菓子屋さん あじさい見学 杉並区役所ロビーPR 活動	昼食イベント (お好み焼き&焼きそば)	父の日 季節の味(メロン) 駄菓子屋さん
7月	流しそうめん	BBQ 大会	七夕・海の日・ 土用の丑の日(うな丼) かき氷会 季節の味(スイカ)
8月	かき氷会 花火大会(施設) 杉並区役所ロビーPR 活動	納涼昼食イベント (そうめん&天ぷら)	山の日 季節の味(ぶどう) かき氷会 アイスクリーム屋さん
9月	敬老会	秋の行楽昼食イベント (サンドイッチ)	敬老の日・十五夜・ 秋分の日
10月	みかん、柿狩り フェスタ南伊豆 杉並区役所ロビーPR 活動	秋の味覚昼食イベント (さんまの塩焼き&フルーツ)	スポーツの日・ ハロウィン・フレッシュ ジュース屋さん
11月	紅葉見学 総合防災訓練 すぎなみフェスタ	寿司イベント	秋祭り献立 お寿司屋イベント
12月	クリスマス会 杉並区役所ロビーPR 活動	クリスマスイベント 昼食イベント(カレー)	冬至・クリスマス・ 大晦日(年越しそば)
令和5年 1月	正月あそび 初詣 新年会	新年お鍋パーティー	正月料理(おせち料理) 七草粥 小正月(伊勢海老汁) 季節の味(みかん)
2月	節分 菜の花・早咲きの桜見学 杉並区役所ロビーPR 活動	節分イベント (太巻き&稲荷寿司)	節分・バレンタインデー 天皇誕生日&富士山の日 季節の味(いちご)
3月	開設記念日 ひな祭り 総合防災訓練	昼食イベント (春野菜のシチュー)	ひな祭り・春分の日・ 開設記念日 お寿司屋イベント

※ただし、コロナ禍の状況により、各種イベント等の変更・中止もあり。

介護老人福祉施設エクレシア南伊豆
令和4年度 数値目標

部 門	目標値	内 容
特別養護老人ホーム	稼働率 98.5%	特養の稼働率は 98.5%を達成できるように杉並区及び賀茂地区からの入退所手続を迅速に行い、空きベッドを作らないように努力する。
短期入所	稼働率 95.0%	特養の空きベッドを転床利用するなどして、稼働率 95.0%を目標とする。
デイサービス	稼働率 68.6% (1日当たり約 24.0名) 1カ月延べ平均 510名以上	1日当たり 24.0名以上を目標とする。 あわせて、要介護度3以上の利用者増加を目指す。

社会福祉法人梓友会 小規模多機能型居宅介護みくらの里 令和4年度 事業計画

●指定小規模多機能型居宅介護 小規模多機能型居宅介護みくらの里

目次

施設の概要	2
令和4年度 小規模多機能型居宅介護みくらの里 サービス基本方針	3
令和4年度 小規模多機能型居宅介護みくらの里 年間行事計画	4
令和4年度 小規模多機能型居宅介護みくらの里 数値目標	5

施 設 の 概 要

施設の名称	小規模多機能型居宅介護みくらの里		
所在地	静岡県下田市吉佐美1077番地16		
設置主体	社会福祉法人梓友会		
理事長	川島 優 幸		
所 長	平 山 悦 子		
沿 革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可		
開 設	平成26年 4月 1日 小規模多機能型居宅介護みくらの里		
事業定員	小規模多機能型居宅介護	登録者数	29名
		通い定員	18名
		宿泊定員	5名
敷地面積	1,990.32 m ²		
建築面積	小規模多機能型居宅介護（みくら保育園を含む） 木造平屋建 489.24m ²		
介護保険法指定事業及び指定日・事業所番号	下田市地域密着型サービス（小規模多機能型居宅介護みくらの里） 平成26年 4月 1日 （事業所番号）2290200019		

小規模多機能型居宅介護みくらの里

令和4年度 サービス基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
<p>1. 人材確保強化と職場環境の革新</p> <p>(1) 働きやすい職場環境づくり</p> <p>(2) 業務力向上のための業務フローの見直し</p> <p>(3) SNS 活用による情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 介護職員等のさらなる定着率向上のため、家庭環境や体調等自己の状況に配慮した実現可能な勤務時間帯等を検討し、介護業務における分業化、効率化を図る。また、リフレッシュ休暇の設定を検討し、公私ともに充実が図れるよう推進を行う。 • ケアカルテの活用による業務フローの見直しや、重複した書類の削減等、ISO 手順書及び様式等を見直すことで業務効率化を図りつつ、生産性とケアの質を向上させる。 • HP を活用し、施設内の状況を発信することで、事業内容や活動、空き状況をタイムリーに伝え、施設の魅力をアピールする。
<p>2. 法人経営強化と時代に即応した経営組織の確立</p> <p>(1) 持続可能な運営体制整備</p> <p>(2) ICT 活用によるケアの質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> • BCP 策定委員会を設置し、今年度中に感染症及び災害に向けた BCP の策定を行う。また、より実態に即した対応が組み込まれるよう、防災訓練としてシュミレーションを行っていく。 • ケアカルテにより LIFE と連携し、PDCA サイクルの推進、質の高いケアの提供、科学的介護推進体制加算取得を目指す。
<p>3.地域共生社会実現とコンプライアンス経営の徹底</p> <p>(1) ヒヤリハット、事故防止検討強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ご利用者様の安全と安心を確保するため、繰り返されているミスに対して、年 4 回ヒヤリハット・事故対策検討委員会を開催し、対応策の妥当性の検証や頻発しているミスについて振り返る機会を持つことで、ヒヤリハット・事故発生件数を前年度より 20% 減少させる。

小規模多機能型居宅介護みくらの里
令和4年度 年間行事計画

	小規模多機能型居宅介護みくらの里	地域の行事
令和 4年 4月	施設外周のガーデニング活動	大賀茂れんげ祭り
5月	ジャスミン見学 こいのぼりの壁画	
6月	あじさい見学ドライブ 梅ジュース作り	
7月	七夕会（保育園交流） おやつ作り（星のゼリー）	
8月	水遊び（保育園交流） スイカ割り	弓ヶ浜花火大会
9月	敬老会 特別食の提供	
10月	運動会	
11月	みくら映画館	総合防災訓練
12月	クリスマスおやつ作り 忘年会	地域防災訓練
令和 5年 1月	初詣（みくら天満宮） 正月遊び	
2月	節分会 みなみの桜と菜の花見学	
3月	ひなまつり（保育園交流） おやつ作り（ひなまつり）	津波避難訓練

• 2か月に1回、運営推進会議を開催する

小規模多機能型居宅介護みくらの里
令和4年度 数値目標

部 門	目 標 値	内 容
小規模多機能型居宅介護	実利用者数27名 (登録者数27名以上)	利用可能枠の有効的活用と、ニーズに合わせて個々の生活力の維持・向上に向けたサービス力の強化を図り、安定した経営に努める